

**山口県立
下関中等教育学校
高森みどり中学
＜適性検査Ⅰ・Ⅱ＞
過去問徹底対策テキスト**

はじめに

このテキストは、山口県立『下関中等教育学校・高森みどり中学』の「平成22～26年」分の過去問を細かく詳しく解説したテキストとなります。

※平成26年版は9月下旬ごろにご購入者様あてメールにデータ配信します。

このテキストの対象は、

① まだ過去問が解ききれしていない方

②市販の過去問集を買ったが解説が少なくてわかりにくい方

③小学校の授業を済ませるのに手いっぱいになってしまっている方

などなど1月の適性検査に対応しきれいないと感じている方にぜひお勧めします。

算数攻略のために、「計算は確実に」「小6までのすべてを6年の夏までに済ませる」『受検する学校の過去問を解く』この3つが重要です。

分数・小数・□を使った計算・比を使った計算・単位を合わせて計算などどれも基本です！

☆解く際の諸注意☆

① 「正しく、落とさず、ていねいに」読む。このことを忘れずにいてください。

「正しく」は、ひねた・斜に構えた・つっこみをいれるような見方でばっかり見ずに、正確に書かれている事柄をとらえてください。ひねた姿勢で批判するのはいつからでもできます。こういう問題を解く際にはそれは無用です。

「落とさず」、これが一番重要です。この問題はわかりやすいですが、金額を一つ読み落したり、注意文を読まなかったり、試験が終わってから、あ〜と後悔しても遅すぎます。

「ていねいに」も似ています。ただ、しっかり重要な言葉だと思ったところはマークしましょう。

四角で囲んだり、下線を引いたり、二重線、☆星をつけたり、波線、など重要度をランク付けして、わかりやすく浮き出させてください。日ごろの学習にはマーカーを使うのもよいですが、試験では鉛筆ですので、できれば鉛筆でやったほうがよいでしょう。

② 図・表・グラフ・数直線などを書いて書いて書きまくって解いてください。

③ 解き方が出て来ない場合でもていねいに書いていけば力技で解ける問題もあります。どうしてもきびしいと思ったら（最低5～10分考えて）、解説をしっかりと読み込んで、理解してください。そして今度そのような問題が出たときに「あの問題に似ているな」と思って、とりかかれるようにしてください。

④ 頭の中だけで考えてすぐに答えが出るようななまやさしい問題なんて出てくるわけありません！小学校で学んだ基本・教科書をもう一度（特に4・5・6年）を読みこんで、「なぜ分数はこういう計算なのか？なぜ台形はこの公式なのか？比の対するものはどれとどれなのか？なぜ速さの求め方はこうなるのか？」などを理解してください。

⑤ 「この問題習っていない」という言葉はもうやめてください。そのままだと適性の問題は卒業しても習うことはありません。自分が考えて解くのです！

算数

◎適性検査対策算数一覧

1	整数の計算、計算のきまり
2	小数の計算
3	倍数・約数、分数の足し算・引き算
4	およその数
5	割合とグラフ
6	平面図形
7	面積
8	立体
9	分数の掛け算・割り算
10	円、およその面積
11	体積
12	合同、拡大図と縮図、対称な図形
13	平均、単位量あたりの大きさ
14	比
15	比例・反比例
16	場合の数、資料の整理
17	線分図を使って考えてみよう
18	数字をヒントに考えてみよう
19	条件からわかること
20	図形パズル
21	立体のみかた
22	資料を読みとろう
23	効率について考えよう

◎教科書算数一覧

V	1	整数の性質 1
	2	整数と小数
	3	小数の $+$ $-$ \times \div
	4	分数の $+$ $-$ \times \div
	5	合同
	6	図形の面積
	7	体積
	8	図形の性質
	9	角柱と円柱
	10	平均
	11	単位量あたりの大きさ
	12	割合
	13	帯グラフ・円グラフ
VI	1	対称な図形
	2	分数 \times 分数
	3	分数 \div 分数
	4	文字と式
	5	比とその利用
	6	図形の拡大と縮小
	7	速さ
	8	比例と反比例
	9	円の面積
	10	小数や分数の計算のまとめ
	11	立体の体積
	12	およその形と大きさ
	13	場合を順序よく整理して
14	資料の調べ方	
15	量の単位	
16	割合を使って	

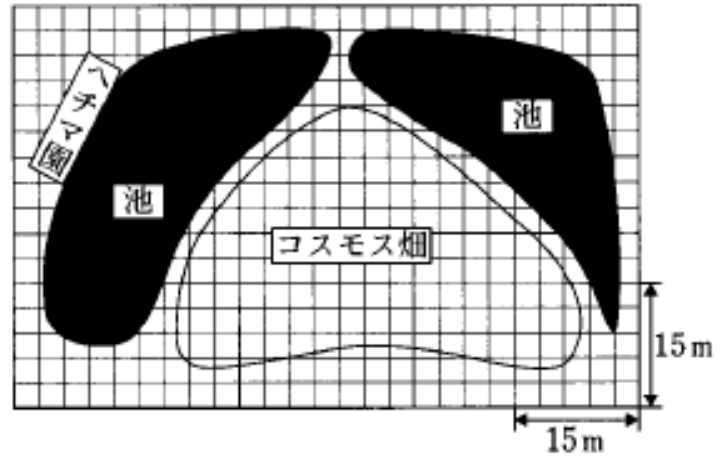
2010年 問題・解説

問題 1

ひかりさんとけんじさんが通う小学校では、10月に遠足があり、ひかりさんたち6年生は、公園に行きました。図1は、遠足で行った公園のコスモス畑周辺の地図です。この地図には、等間隔に線が引いてあり、5つの間隔で、実際の15mを表しています。あとの問い(1)~(3)に答えましょう。

(1) 公園の池のそばにヘチマが植えてありました。ヘチマには、種子ができており、多くの種子は地面に落ちていましたが、ひかりさんは、ヘチマの種子が池にもいくつか沈んでいることに気がきました。ひかりさんはそれを見て、担任の先生に「土の上に落ちた種は、芽が出ることもあると思いますが、水に沈んだままの種も、適当な温度なら芽が出る可能性がありますか。」と聞きました。

図1 公園のコスモス畑周辺の地図



先生は、「適当な温度であったとしても、水に沈んだままでは、芽は出ませんよ。」と言いました。

先生の言葉を参考に、水に沈んだままの種子が、発芽しない理由を説明しましょう。

小5の理科の分野です。ダイズの発芽実験の問題です。

発芽するには3つが必要です。覚えてますか？

『空気・水・適当な温度』です。

例)

水に沈んだままの種子が発芽しないのは、種が発芽するのに必要な空気にふれていないからです。

問題2

ひろしさん、さくらさん、あつこさんの班では、総合的な学習の時間に、「環境にやさしい生活」というテーマで調べた内容を発表することにしました。次の文章は、リサイクルセンターを訪問し、職員の田中さんから受けた説明の一部です。あとの問い(1)～(3)に答えましょう。

「リサイクル」という言葉は日常的にもよく使いますが、その意味は資源を再利用するということです。みなさんもよく知っているように、スチール缶やアルミニウム缶、ペットボトル、牛乳パック、段ボールなどの多くはリサイクルされています。山口県では、平成20年度にごみをリサイクルした割合が全国で第2位でした。今、みなさんに見てもらっているあの機械(図1)は、スチール缶とアルミニウム缶を分別する機械です。大型の電磁石を利用して、磁石にくっつくスチール缶を選別しています。ほとんどの人が、きちんと分別してくれていると思いますが、スチール缶とアルミニウム缶が混ざっていることがあるんですよ。一人ひとりリサイクルの意識をもって、きちんと分別して出してほしいですね。

図1 スチール缶を選別する機械



- (1) この訪問で、ペットボトルの回収に興味をもったひろしさんは、図書室に行き、国内のペットボトル販売量と国内のペットボトル回収率についての資料を見つけ、それをもとに図2、図3のようなグラフを作成しました。図3の回収率とは、その年度の販売量に対する回収量の割合を示したものです。

図2 国内のペットボトル販売量

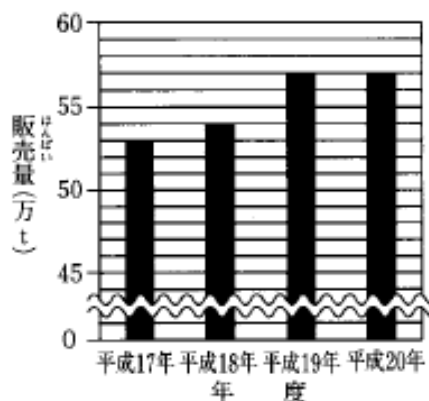
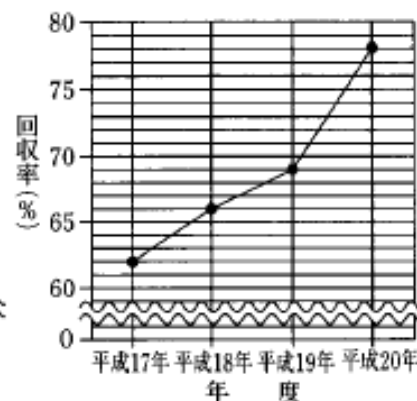


図3 国内のペットボトル回収率



(PETボトルリサイクル推進協議会資料により作成)

図2、図3をもとに、平成20年度の国内のペットボトルの回収量が何tであったかを求める式を書き、答えを四捨五入して一万の位までのがい数で求めましょう。

たては販売量（万 t）

平成20年は、5ずつ区切っている棒グラフなので、
57万トンです。

たては回収率（%）

平成20年は、5ずつ区切っている折れ線グラフなので、
78%です。

$$570000(t) \times 78\% (0.78) = 444600$$

44万4600 t

万でそれ以下を四捨五入なので、4は×で、44万 t

答え 44万 t